

研究課題名	内視鏡的胃粘膜下層剥離術（Endoscopic submucosal dissection; ESD）後の潰瘍治癒遅延に関する予測因子の検討
研究の意義・目的	現在、内視鏡的胃粘膜下層剥離術（胃 ESD）後に対しての ESD 後潰瘍の治癒を確認するための上部消化管内視鏡検査を施行する時期や必要性について明確には決まっていません。ESD 後潰瘍の治癒遅延が生じる場合のリスクについて検討することによって、ESD 後潰瘍の治癒を確認するための上部消化管内視鏡検査を施行する必要がある症例を検討することができると考えられます。それにより、治癒遅延のないと考えられる患者さんの負担の軽減および術者・担当医の負担の軽減、医療費の削減などに寄与するものと考えます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2027 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2011 年 1 月から 2025 年 3 月の間に、大阪公立大学医学部附属病院消化器内科において、胃腫瘍に対して内視鏡的治療（胃 ESD）を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた情報を本研究に使用させてください。 使用する情報：病歴、診断名、年齢、性別、検査日、既往歴、基礎疾患、内視鏡検査結果
試料・情報の他機関への提供	研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者：藤原 靖弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 担当者氏名：高橋 駿介 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813